

令和5年度 「ドリカム人づくり推進事業」
高等部作業学習（農業班）「みんなのごはん」プロジェクト

11月2日（木）、「みんなのごはん」プロジェクトの活動として、高等部の畑で収穫した作物の一部を弥生いこいの広場の動物に提供してきました。その様子をご報告します。

（1）「みんなのごはん」贈呈

代表生徒から「私たち農業班で育てて収穫したサツマイモやカボチャ、ポップコーンなどです。動物さんたちに食べさせてあげてください。」というメッセージを伝え、飼育員さんに手渡ししました。



（2）「みんなのごはん」を食べてもらおう！

飼育員さんから、今回提供した「みんなのごはん」のうちポップコーンの種を一握りずつ分けていただき、一人ずつニホンザルにあげる体験をしました。飼育室につながるパイプの入口からポップコーンの種を入れると、パイプの出口で待ち構えているニホンザルが次々と拾って口に運びます。生徒は提供したポップコーンの種をおいしそうに食べてくれるニホンザルの様子を自分の目で確認することができました。この経験が今後の学習への意欲につながり、冬期の地道な選別作業にも取り組んでくれると期待しています。



シカなどのおやつをゲットしました。生徒たちはそれぞれの動物が食べやすいよう、顔の近くに落としてあげようと工夫しながらおやつをあげていました。

なお、この「おやつカプセル」の中身は、弥生いこいの広場から材料を提供していただき、高等部のリサイクル班が詰めています。



(4) 奉仕活動

落ち葉集めを行いました。ほうきや熊手を使って落ち葉を集め、袋に入れること 30～40 分。70L のポリ袋 12 袋分の落ち葉が集まりました。ビフォー・アフターを写真でご覧ください。集めた落ち葉は学校へ持って帰り、腐葉土作りに活用する予定です。



ビフォー(活動前)



アフター(活動後)

(5) あいさつ

今年度も、予定していた2回の「みんなのごはん」お届けを無事に終えることができました。代表生徒からお礼のあいさつをすると、飼育員さんからは、「みんなのごはん」の提供に対する感謝と、「来年度もよろしくお願いします。来年度はもっとみなさんと交流できたと思っています。」という言葉いただきました。生徒たちも、「よろしくお願いします！ありがとうございました！」と自信をもって返答し、帰路に着きました。

☆「みんなのごはん」プロジェクトとは☆

高等部の畑で栽培した作物のうち、規格外のものを動物の飼料として提供する取り組みです。「製品にはならないけれど、食べられる。廃棄せずに役立てたい。」という思いから始まり、今年度で4年目を迎えました。人も動物もみんなで食べられる作物を作り、それを丁寧に選別し「製品」、「規格外」、「廃棄」に分けることで、製品の品質向上、廃棄物の削減につながっています。SDGs項目としては「12つくる責任 つかう責任」「15陸の豊かさを守ろう」に関連しています。地域の一員として誰かの役に立っているという意識をもって作業学習に取り組むことで、やりがいを感じ楽しく学ぶことができればと思います。